

スペイン語スピーチコンテスト

2025年6月26日(木)、神奈川県大学みなどみらいキャンパス米田吉盛記念ホールにて、外国語学部スペイン語学科主催(後援: 神奈川県大学人文学会)スペイン語スピーチコンテストが開催されました。このコンテストは、スペイン語学科に在籍する学生が様々なテーマについてスペイン語で発表し、日々培っているスペイン語の力を発表するというものです。毎年、外国語学部文化ウィークの一環として開催されています。



本年度は、新しい試みとして朗読の部が設けられました。主に、本年4月に入学した一年生に向けたカテゴリーです。秋に上演予定のスペイン語劇の作品「Bodas de sangre (血の婚礼)」(Federico Garcia Lorca 作)にちなみ、同作者の詩が、朗読課題の詩として選ばれました。今回は全カテゴリーにおいて合計18名が出場しました。カテゴリーBやCでは、「大学で学ぶことってなんだろう」という、観客である学生にとり身近なテーマや、「日常生活におけるモラルとはなんだろう」と、誰もが一度は考えるであろうテーマのスピーチがありました。また、日本の伝統文化を代表する江戸切子についての紹介や、イベリア半島北西部で話されており、消滅危険度が高いとされているアストゥリアス・レオン語についての詳説など、審査員にとっては順位をつけ難い素晴らしいスピーチばかりでした。また、各スピーチの後に行われたスペイン語での質疑応答の時間では、出場者は、それぞれが持つ瞬発力や臨機応変さをもって奮闘し対応しました。コンテスト後に開かれた表彰式では、学年の垣根を超え、さまざまな学生同士が歓談の時間を楽しみました。緊張が解けた出場者の達成感あふれる輝かしい笑顔が会場に彩りを添えていました。

(神奈川県大学外国語学部HPの記事を一部転載しています。)

外国語学部 スペイン語学科 西田 依麻

入賞のタイトル

Categoría A1 詩の朗読

La Guitarra (Federico Garcia Lorca)

Categoría A2 詩の暗唱

La luna asoma (Federico Garcia Lorca)

Categoría B

1位 El asturleonés

アストゥリアス・レオン語について

2位

La universidad: ¿un lugar para buscar trabajo o para estudiar? 大学とは? 就職のため? 勉強のため?

3位

R. Madrid, Barsa y la independencia de Cataluña
レアル・マドリッド対FCバルセロナ、カタルーニャ独立運動との関係

Categoría C

1位

¿Por qué aprender idiomas? 言語を学ぶ理由

特別賞 審査員

El arte del vidrio: Edo Kiriko
ガラス工芸、江戸切子

特別賞 観客選定

La universidad: ¿un lugar para buscar trabajo o para estudiar? 大学とは? 就職のため? 勉強のため?



リヴェラノリカ

「La guitarra」の朗読

今回のスピーチコンテストで賞を獲れてとても嬉し
いです。私がこのコンテストに参加した理由は、中学
生、高校生の頃に英語のスピーチコンテストに出場し
ていて、大勢の人に見られながらのスピーチに慣れて
いて、大学生になってもそれを発揮したかったのと、
スペイン語の単語の意味を深く見るだけではなく、そ
の発音の仕方などを学びたことから、そして単に図
書カードが欲しかったからです。今までやってきたス
ピーチは英語で話していたので、みんなの前でスペイ
ン語で話すのが初めてで本番までの緊張感が凄かった
ですが、バロン先生やアレハンドロ先生の優しく分
かりやすいご指導や自分の日々の練習のおかげで、本
番では緊張感と安心感があって、少しリラックスして
スピーチすることができた気がします。

私は正直言うと、言語関係なく、あまり詩などに興
味がなくて、初めてこの詩を見た時も、個々の言葉意
味が分からないまま練習をしていました。しかし、本
番に近づくにつれて各言葉の意味や発音するときにど
う感情をこめればいいのかなどを究めたおかげで、詩
の凄さに少し気づけたと思います。

私はスピーチコンテストに参加できてほんとによ
かったと思います。みんなの前で話す自信、スペイン
語の発音の大切さ、そして、賞と図書カードを獲りた
い競争心を体験できる機会はこのコンテストにしかな

い魅力だと思います。そういう体験を味わいたいのら
ば、このコンテストに参加することをおすすめします。
ありがとうございました。

内田明希

「La guitarra」の朗読

私は初めてスピーチコンテストに参加し、そこで審
査員賞に選ばれたことにすごく驚きました。コンテス
トに参加した理由は、言葉の発音が好きであることと
人前で話すことに慣れていきたいと思ったからです。
練習しているときご指導いただいた、語のつながり
や強弱に気を付けながら楽しく取り組んでいたのです
が、リハーサルで他の参加者の発音などを聞いて今の
ままでは入賞は難しいと思いいネイティブの方の発音を
録音し、何度も耳で聞いて間の取り方とかを練習しま
した。他の方の上手さを目の当たりにしたときに勝ち
たいという熱が湧いてきました。

私は本番、トップバッターだったため緊張もとても
しましたが事前に練習を重ねて自信がついたからこそ
一度も止まることなく詠むことができました。詠むこ
とは詩なのでできる限りゆっくり話すことに重点を置
きました。練習と比べると少し早くなってしまいました
た。また、「santitas」という語の「ti」の発音が難しかっ
たです。ただの「ラ」ではないし強く巻き舌をするわ
けでもない音だったのでコツをつかむのに苦労しまし
た。巻き舌自体完璧にはまだできないけれどこれから
たくさん練習してスムーズにできるようになりたいで
す。

このコンテストに出たことによって自分の発音に自
信ができました。授業中にスペイン語の文を読む時も

単語一個ずつではなくて二語、三語をつなげて読める
ようになりました。今回は短い詩の朗読という形でし
たが次回は一つレベルアップした詩の暗唱の方で挑戦
をしてみたいと思いました。

澁谷日菜華

「La guitarra」の朗読

私が参加しようと思った理由は、入学当初からスベ
イン語学科で開催されるこのスピーチコンテストに興
味があり、中学生の頃に英語のスピーチコンテストに
出場した経験を活かしたいと思ったからです。
詩を読むだけの発表でしたが、英語とは違う発音の
仕方やイントネーションでスペイン語に慣れたばかり
の私にできるのかと最初は不安でした。「ti」の巻き舌
がなかなかできず、緊張で早口になってしまいうちにア
レハンドロ先生は優しくご指導をしてくださいまし
た。そのおかげで本番では最も良いスピーチができま
した。

このスピーチコンテストに出場して、より多くの時
間スペイン語に触れることができ、大勢の人の前で
堂々と発表したことの達成感を味わうことができました。
貴重な経験をありがとうございました。

雪江勇太

「La luna asoma」の暗唱

今回、僕はスピーチコンテストで詩の暗唱をしまし
た。正直に言うとテーマは自分で選んだわけではなく
課題文でした。だから最初から「この詩を通して何か

を伝えたい！」のような熱い思いがあったわけではありませんが、でも、練習しているうちにスペイン語ならではの表現の面白さに気づきました。例えば「Luna」という単語。これはスペイン語で「月」という意味です。日本は「月が綺麗ですね」が告白になりますが、スペインでは月は死や不吉な意味として使われます。今回の課題文に出てきました。

では僕はなぜ今回スピーチコンテストに出場したのか。それは大きくわけて2つの理由があります。

まず1つ目は、優勝したら図書カード1万円分がもらえるというからです。最近の小説や哲学書や履修してないけど気になる学問の教科書など、いろんなジャンルの本を読むことにハマっていて、ちょうど本代に困っていたところでした。

そして2つ目は「最大化の証明」です。これは僕が個人的に友達や家族に提唱し続けているもので、例えば並盛(150g)も特盛(300g)も同じ値段(900円)の油そばを食べる時、僕は特盛を頼みます。そうすれば最大化しているということです。そして僕は実質1800円の油そばを食べたということになります。このような最大化の理論を今回のスピーチコンテストで友達や家族に証明しようと思いました。今回の僕のスピーチコンテストの練習時間は2時間です。2時間で1万円を獲得できれば実質時給5000円です。僕は「絶対今回優勝して最大化するからね！」と友達や家族に言いまくって、無事優勝して最大化の証明に成功しました。僕は優勝以外のことは考えていませんでした。

ここまで動機のことを話してきましたが、正直、動機はどうでもいいと思います。本当に意味のあることはちゃんと何かに本気で向き合うということだと思います。

ます。

人生は一度きりなのにもかかわらず多くの人はその実感がないように感じる時があり、そしてこう言っている自分にもその実感がない時があります。誰かのためだけに生きているのは勿体ないと思います。

実際、自分でもやりたいことが何なのか分からなくなっていた時もありました。そのため、僕はそれに気づいてから自分で自分の人生に責任を持って、何でもかんでも挑戦するようになりました。(作詞・作曲・サークル・読書・スピーチコンテスト・YouTube・noteなど。)新しいことに挑戦することは自分の人生を「ちゃんと生きる」ということにも繋がると思います。

何年の何月何日にあなたがこの文章を読んでいるかは知らないけれど、今この文章を読んでいる時間は一生帰ってきません。どれだけお金を払っても、どれだけ待っても、この今回の人生で「今」という時間は一生帰ってきません。死んでも返ってきません。

もしあなたがこの文章を読んで自分もちゃんと生きたいと思ったのであれば、僕はあなたの味方です。僕もやりたいことが分からなくなることはよくあります。一緒にこの辛い人生を精一杯生きましょう。人生の辛さを自認して精一杯生きようとしている人はカッコいいです。そのようなカッコいい素質のある人が、誰かのためだけに自分の人生を使い切らないでください。僕と一緒にこの今回の人生を最後まで生きましょう。おじいちゃんおばあちゃんになった時に「これが私の人生だ！」と胸を張って言えるように。

岸本 佳子

「La luna asoma」の暗唱

スピーチコンテストは終わりましたが、私にとってスペイン語との関わりは、むしろここから本場のスタートだと感じています。今回の挑戦を振り返ると、自分の中で得たものが多く、大切な経験になりました。実は、出場を決めたのはコンテストの数日前でした。「やっぱり出たい」と思い、思い切って先生方に相談したところ、忙しい中にもかかわらず話を聞いてくださり、練習の時間まで取ってくださいました。急なお願いだっただにもかかわらず、温かく背中を押していただけたことに、心から感謝しています。

「チャンスがあるうちにやるべきだ」と思ったのは、そのとき自然に浮かんできた気持ちでした。今しかできないことに向き合ってみようという思いからでした。本番では緊張して早口になったり言葉が飛んだりもしましたが、他の参加者もみな緊張しながら一生懸命頑張っている姿を見て、とても励みになりました。「自分だけじゃない」と思えたことで、少し気持ちが楽になりました。先生方もあたたかく見守ってください、安心して臨むことができました。

ただ内容を伝えるのではなく、「どう伝えるか」を考えながら話すという意識が持てたことも、自分にとっては新たな学びだったと思います。結果にかかわらず、この経験は少し自信につながりました。もしも、こういった場面で迷っている方がいれば、自分の気持ちに正直になって、一歩踏み出してみてもいいのではないかと思います。こうした経験を通して、それぞれの力になるのではないかと思います。

村山 莉子

El asturleonés

「アストゥリアス・レオン語について」

今回スピーチコンテストに参加するにあたって、せっかくなスペイン語学科の発表なのだから、自分が興味を持っていることと、言語に関することを組み合わせたいテーマにしよう……と思いつき、スペインの多様性、中でもアストゥリアス・レオン語という言語を取り上げることにしました。

スペイン語（カステイリャ語）以外にも、スペインのいくつかの自治州では、公用語として認められている言語が存在します。しかし、それ以外の言語はあまり知られていないのではないのでしょうか。今回取り上げたアストゥリアス・レオン語は、近年独立した言語として見直されつつある一方で、未だにスペインにおけるいかなる自治体においても公用語にはなっていません。

スピーチでは、こうした少数言語の置かれている状況や、「言語」と「方言」の間のあいまいさ、そして公用語化に関する議論などに触れました。全てを語りきることはできませんでしたが、こういった話題を通して「スペインってどんな国なんだろう」ということを考えるきっかけになったり、日本でも似たようなことがあるのではないかと、と少しでも思い浮かべてもらえたのなら、嬉しく思います。

また、人前で話すのが本当に苦手で、練習をしている時も、もちろん本番も、常にとんでもない緊張でいっぱいでした。しかし、無事に終えることができましただけでなく、賞までいただくことができ、とても嬉しんです。報われたところか、それ以上に大きなものを

いただけたように感じています。

私の拙いスピーチの練習に付き合ってくださいった先生方や友人たち、そして当日私の話を聞いてくれた皆さんに、心から感謝申し上げます。これからも少しずつ成長できるよう、努力を重ねていきたいと思えます。

大石 智里

La universidad: ¿un lugar para buscar trabajo o para estudiar?

「大学とは？就職のため？勉強のため？」

まさか自分がこのコンテストに出場し、入賞までいただけるとは思っていませんでした。自分のスペイン語力にはあまり自信が無く、もともと人前に立つことも苦手だったため、参加も初めはためらっていましたが、自信が無かったからこそ、自信が持てるまで練習を重ねました。Spanish Expressを活用し、先生方や先輩にアドバイスをいただきながら自分が目指すスピーチに近づけていきました。テーマは「大学へ通う意義」についてで、自分の意見を形にするのは難しかったですが、スペイン語を勉強したいと思った原点を思い出しながら考えを深め、自分の今のスペイン語力で話せる内容に仕上げられたと感じています。原稿作りから本番までは頭の中がいつもスペイン語でいっぱい、その過程で多くの表現や語彙を自分のものにしてきたという実感があります。本番は緊張しながらも同じくらい楽しさもあり、やりきって晴れやかな気持ちで終えることができました。結果2位に加えて観客特別賞までいただけて、多くの人に伝えられたのだなと思うとうれしかったです。またこのコンテストを通して、どんな文章でも綺麗な発音で読めるようになり

たいという新しい目標ができました。参加のきっかけをくださった先生には感謝しかありません。挑戦して本当に良かったです。

清水 遙華

R. Madrid, Barsa y la independencia de Cataluña

「レアル・マドリッド対FCバルセロナ、カタルーニャ独立運動との関係」

私は、スペインへの留学経験を活かしたいと思い、今回スピーチコンテストに参加しました。テーマは、自分が留学中に関心を持った「スペインの政治とスポーツの深い関係」についてです。スペイン語は継続的に学んできていたため、言葉の面で戸惑うことはほとんどありませんでした。むしろ、自分の考えをどんな構成で、どんな言葉で伝えるかを考える作業が印象的で、準備期間中はとても楽しく取り組むことができました。スピーチという形で発表するのは初めてでしたが、自分の留学経験や興味を改めて見つめ直す良い機会となり、文章を練ったり、話し方を工夫したりするプロセスも非常に意味のあるものでした。ただ、本番当日はやはり緊張がピークに達し、大勢の人の前に立った瞬間、体が一気に固まったような感覚がありました。朝からずっとお腹も痛く、今までにないほど緊張していたと思います。緊張しながらも、自分の言葉でしっかり伝えたいという思いが強く、最後までやりきることができました。終わった瞬間には、緊張から解放された安心感とともに、大きな達成感を感じました。今回の経験を通して、自分の伝える力や準備の大切さを改めて実感し、今後はさらに多角的な視点を持ちながら自分らしい表現力を磨いていきたいと思いま

す。また、スペイン語を学ぶ楽しさや深さを実感し、これからもより積極的に語学力向上に努めていきたいと感じています。

山藤 英絵

¿Por qué aprender idiomas?

「言語を学ぶ理由」

今回私がスピーチコンテストへの出場を決めたのはひとえに、私が大学生活を送るうえで日々感じていたスペイン語の語学学習への思いを何らかの形にしようと思ったことがきっかけでした。

原稿を書き進めるうちに伝えたいことが次々と湧いてきて、気付けば規定の時間に到底収まりきらない内容になってしまいました。そんな中、先生方にご無理をお願いして時間を調整していただき、本当にありがとうございました。

内容はなるべくスペイン語を学び始めてすぐの人にもわかりやすくなるように心掛けましたが、うまく届いたか少し不安です。本番では多くの人の前で発表することへの緊張はありましたが、練習の成果を発揮できたかと思えます。質問の時間も、自分なりに相手の意図を汲みながら応じる中で、これまでの学びが少しではあります。自分の自信に繋がりました。終わったあとの達成感と、去年少し残った後悔を払拭できた、かけがえのない経験になりました。

今回のスピーチコンテストを通して、昨年からの自分の言語面での成長と、スペイン語学習へのより一層強い思いを実感しました。これからも自分のペースで、語学の楽しさを感じながら学びを深めていけたらと思います。

このような貴重な機会をいただけたこと、また原稿の添削や練習にご協力いただいた先生方に、改めて心より感謝申し上げます。

宮本 夏希

El arte del vidrio: Edo Kiriko

「ガラス工芸、江戸切子」

私はこのスピーチコンテストに参加するのが二回目でした。一回目の参加は経験も未熟で失敗してしまい、心残りがありません。二回目も失敗してしまうのではないかと参加を躊躇していましたが、留学した経験は何も残せないのは嫌だと思い、今回も参加しました。

Category Bはテーマが自由だったので、せっかくなら日本の文化について話したいと思いました。日本文化に興味のあるスペイン人の友達がたくさんいて日本文化について聞かれることが多いため、スペイン語で日本文化を説明したいという気持ちもありました。

スペイン語初心者にもできるだけ伝わるように、どの単語を使うか考えて内容を練るのが難しかったです。練習では先生やスペイン語学科の友人が手伝ってくれて、先生には発音やスピードについてアドバイスをもらい、友人には暗記しているかどうかの確認を手伝ってもらいました。また、スペイン語は発音が大切なので発音に気をつけながら読むことを意識して練習しました。

このスピーチコンテストに参加して私はまた成長できたのではないかと思います。参加後の授業ではスピーチコンテストで覚えたスペイン語の構文を使うことができ、発音も前よりも気をつけて読むようになりました。これからもスペイン語で自分の考えや文化を



伝えられるよう、もっと語彙力と表現力を身につけて次に挑戦したいと思っています。サポートしてくれた先生や友人には、本当に感謝しています。応援があったからこそ、最後まで諦めず頑張れました。